

産業振興ネットワークのあゆみ

期	年度	回	開催年月日	議題等	備考(主な意見等)
第Ⅰ期	平成25年度	第1回	平成25年7月1日(月)	・産業振興条例について ・市の産業概況について ・市のふるさと産品について	会議計画を1年目は方向性の確認、2年目は具体策の検討平成28年度からの総合計画・実施計画への反映とした。事業仕分けされたふるさと産品の制度の必要性再確認。
		第2回	平成25年10月7日(月)	・産業振興に係る意見と今後について ・市ふるさと産品について	ふるさと産品認定基準について意見交換し、認定主体は市が望ましいものとした。 ➡ふるさと産品制度復活へ
		第3回	平成26年2月4日(火)	・他市町村等事例紹介 ・これまでの意見について ・産業振興活性化策(仮称)について	先進地や他市の情報共有し、商店会・商業の活性化についてのアイディア等を話し合う。次回までに各委員が、商業、店舗、商店街の活性化についてメモ提出することとした。
	平成26年度	第1回	平成26年7月2日(水)	・平成25年度の会議整理事項 ・他市町村等事例紹介 ・産業振興活性化策(仮称)について	条例基本理念の地域循環にあわせた農をを活かした事業作り、農業・工業の活性化について話し合う。
		第2回	平成26年10月2日(木)	・今後のスケジュール ・会議整理事項・これまでの意見のまとめ ・白井市の産業の振興・活性化への意見書たたき台(案)について	計画中の総合計画及び都市マスタープランの施策への意見として活用してもらうための意見書のたたき台について検討
		第3回	平成27年2月3日(火)	・今後のスケジュール(これまでの意見のまとめ) ・白井市の産業の振興・活性化への意見書案について	前回検討した意見書のたたき台を案としてまとめる作業を実施。最終調整を委員長へ委任。
			平成27年3月20日(金)	●意見書の提出	委員長最終調整を経て市長に意見書提出。
第Ⅱ期	平成27年度	第1回	平成27年8月11日(火)	・白井市産業振興条例・産業振興ネットワークの概要について ・条例制定後の市の取り組みについて ・今後の産業振興ネットワークの進め方について	第Ⅱ期会議計画を話し合い、工業団地のイメージアップと道路の問題等の話が上がる。
		第2回	平成27年10月30日(金)	・前回会議のまとめ ・白井工業団地のイメージアップ・PR戦略について ・駅前イベントの開催等について	今後の議題を第Ⅰ期の意見書に照らしながら掘り下げてゆくものとし、PRビデオ作成等による白井工業団地のイメージアップ・PR戦略等が提案された。 ➡しろい工業団地PR/地方創生活活性化事業へ
		第3回	平成28年1月15日(月)	・白井工業団地エリア等現地見学会	白井工業団地を中心に工業団地や農産物販売所の現場の実見を行った。
	平成28年度	第1回	平成28年7月6日(水)	・白井工業団地エリア等見学会について ・しろい工業団地PR/地方活性化事業について ・工業団地への産業機能の集積について	工業を中心に検討し、イベントなどを通して工業団地を市民に知らせる必要性、しろい工業団地PR・地方活性化事業の効果的、効率的な実施、道路問題についての国県への要望などが提言された。
		第2回	平成28年10月13日(水)	・梨育苗センターについて ・白井の農産物について ・駅周辺や地域における農産物の販売の場づくりについて	農業を中心に検討し、農産物についての強み弱みの情報共有、名産品の梨のブランド化の一つとしてレア品種の開発と販売の仕掛けなどが提言された。
		第3回	平成29年2月6日(月)	・白井の商業の現状について ・これまで(第Ⅱ期)の活動を振り返って ・今後の産業振興に向けて	商業を検討するとともに、第Ⅱ期の活動を顧みて次期への課題を探った。

産業振興ネットワークのあゆみ

期	年度	回	開催年月日	議題等	備考(主な意見等)
第Ⅲ期	平成29年度	第1回	平成29年7月4日(火)	- 産業振興条例について - 第5次総合計画と市の産業概況について - 今後の産業振興ネットワークの進め方について	- 産業振興条例と産業振興ネットワーク会議の運営と市の総合計画についての理解を深めた。 - 意見として、土地がない、農家は減少傾向で今後は厳しいとの意見や、産業データがないかなどの意見が出される。
		第2回	平成29年10月3日(火)	- 白井市の現状について (まち・ひと・しごと創生総合策定基礎調査まとめ) - 白井市の農業について	- まちひとしごと創生総合戦略基礎調査からの農業、商業、工業に係るアンケートからの集計結果、データを示し、農業、商業、工業の現状に係る理解を深め、農家の今後の後継者不足が課題との意見が出される。 - 白井市の農業の実態と取り組みについて、都市計画もあるが、遊休農地や土地の有効活用を積極的に行えないかなどの意見が出される。 - しろいの梨の更なるPR、ブランディングが必要との意見が出される。 (実施内容) →30年度に農産物、しろい梨のPR、ブランディングについて、平成30年度に新規で歌舞伎座でのしろい梨の販売や市民プールで農産物の販売を行った
		第3回	平成30年2月1日(木)	- 白井市の創業支援について - 地域の産業振興における社会的課題について	- 白井市で創業支援事業計画を策定し、国の認定を受け、市内のスタートアップを支援していく制度を説明し、創業支援は新産業創出、農商工連携事業においても重要なため、よりPR活用していくことが意見として出される。 4次産業革命、変革の時代の中、事業者の少子高齢化、人手不足・後継者不足など、社会的課題に直面しており、課題解決、事業者の認識、理解を強化していくことが必要と意見が出される。 (実施内容) →30年度に創業支援の実施及び千葉県信用保証協会などの関係機関との連携を図った →30年度に人手不足対策セミナー、商工会との連携による後継者対策セミナーの開催 →30年度白井市合同企業説明会、工業団地見学ツアーの実施